N I クラウドサービス 接続先URL変更による 設定変更箇所

目次

1.ブラウザのブックマークについて	1
1-1 パソコンの設定	1
1-2 モパイル端末の設定	2
2.メール通知機能について	3
2-1 旧アドレスから送信した通知	
3.製品内のリンクについて	4
3-1 メニューパレット	
3-2 製品内に入力されたURL	4
4.アドレスの設定について	5
4-1 携帯用公開アドレスの設定	
4-3 メール通知アドレスの設定	7
5.ブラウザの設定について	8
5-1 セキュリティゾーンの設定	
6.メール DM サーバーの設定について	9
6-1 メールDM管理>連携設定の更新	9
7.API連携の設定について	10
7-1 情報受信API設定	10
7-3 情報送信パッチAPI設定	
8.弊社製品からのアクセス先について	13
8-1 アクセス制限について	

1.ブラウザのブックマークについて

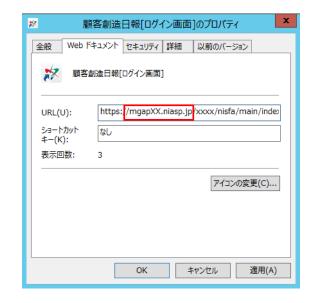
1-1 パソコンの設定

① ブラウザのお気に入りに設定されている場合は、NI製品へのリンクを修正してください。 お気に入りを開いて、NI製品へのリンクを右クリックして、プロパティをクリックしてください。 プロパティ画面のURLが入力されている部分の「mgapXX.niasp.jp」を「nivms.com」に書き換えてOKボタンをクリックしてください。



② デスクトップにショートカットを設定されている場合は、NI製品へのリンクを修正してください。 ショートカットを右クリックして、プロパティをクリックしてください。 プロパティ画面のURLが入力されている部分の「mgapXX.niasp.jp」を「nivms.com」に書き換えてOKボタンをクリックしてください。





1-2モバイル端末の設定

① NI製品のオプション設定より、携帯メールアドレスへのURL送信、又はQRコードの読み込みを行ってください。 モバイル端末側にてURLを変更する場合の端末の操作方法については、端末の操作説明書などを参照してください。

日報製品のオプション設定>携帯URL送信機能



NIコラボのオプション設定>携帯版ログイン設定機能



2.メール通知機能について

2-1 旧アドレスから送信した通知

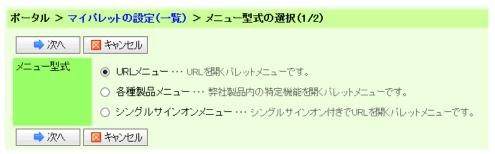
① アドレス変更前にメール通知機能などで送信したメール本文中のリンクは利用できません。 リンクを開いた後に、ブラウザのURL欄の「mgapXX.niasp.jp」を「nivms.com」を書き換えるか、 再度、メール通知を行ってください。



3.製品内のリンクについて

3-1 メニューパレット

① メニューパレットに追加した、URL メニューで追加した製品内へのリンクは利用できなくなります。 リンクの設定画面でURL欄の「mgapXX.niasp.jp」を「nivms.com」を書き換えてください。 ※メニュー形式によって、変更の有無が異なります。



URL メニュー・・・・ URL に「mgapXX.niasp.jp」が含まれる場合、「nivms.com」に変更する必要があります。

各種製品メニュー ・・・ 変更の必要はありません。

シングルサインオンメニュー・・・ URL に「mgapXX.niasp.jp」が含まれる場合、「nivms.com」に変更する必要があります。

※シングルサインオンメニューの変更はシステム設定から行う必要があります。

システム設定>NIコラボ>ポータル>ポータルパーツの設定

ポータルバーツ名(※)	ポータルパーツ名	
URL	https://mgapXX.niasp.jp/xxxx/	
バラメータ	変数名 値 xxxxx xxxxx xxxxx	%ID ・・・・ 社員D(システムが内部で使用) ××
高さ	250px 🗸	

3-2 製品内に入力されたURL

① NI製品のメールやナレッジコラボレーション、回覧板、日報製品の商談やコメント等の文書中に、「mgapXX.niasp.jp」のURLが入力されている場合、それらのURLからのリンクは出来なくなります。 検索条件に「mgapXX.niasp.jp」を指定して頂き、個々に修正してください。 又は、ブラウザでリンクを開いた後に、ブラウザのURLの「mgapXX.niasp.jp」を「nivms.com」に書き換えてください。

4.アドレスの設定について

4-1携帯用公開アドレスの設定

① 基本設定より携帯用公開アドレスを選択します。 携帯用公開アドレスの設定画面の通知用アドレスが、「mgapXX.niasp.jp」となっている場合は、 [初期値に戻す]ボタンを押すか、「nivms.com」に変更して[保存する]ボタンを押してください。



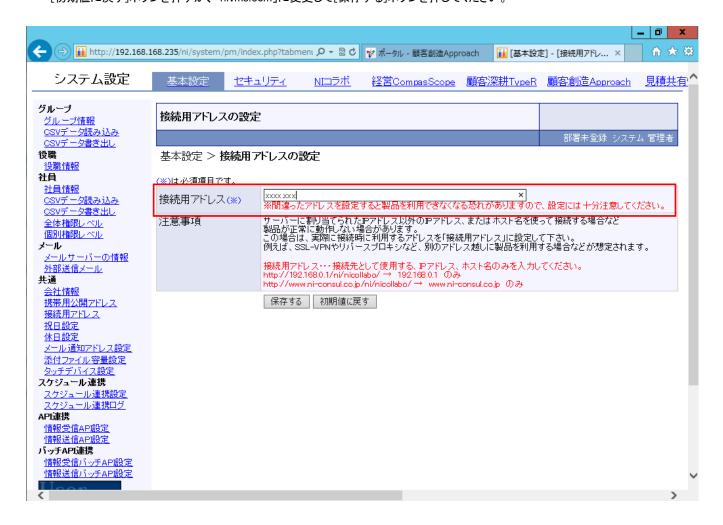
・意図せず、mgapXX.niasp.jp が保存されている場合は、初期値に戻すボタンを押してください。 初期値で現在アクセスされている URL が設定されます。



- ・クラウドサーバーに直接接続を行わず、
 - プロキシサーバー等を経由する運用の場合のみ設定が必要となります。
- ・プロキシサーバー等でクラウドサーバーの URL に変換を行っている場合は、
- プロキシサーバー側の設定で URL を変更して頂く必要があります。

4-2 接続用アドレスの設定

① 基本設定より接続用アドレスを選択します。 接続用アドレスの設定画面の接続用アドレスが、「mgapXX.niasp.jp」となっている場合は、 [初期値に戻す]ボタンを押すか、「nivms.com」に変更して[保存する]ボタンを押してください。



・意図せず、mgapXX.niasp.jp が保存されている場合は、初期値に戻すボタンを押してください。 初期値で現在アクセスされている URL が設定されます。



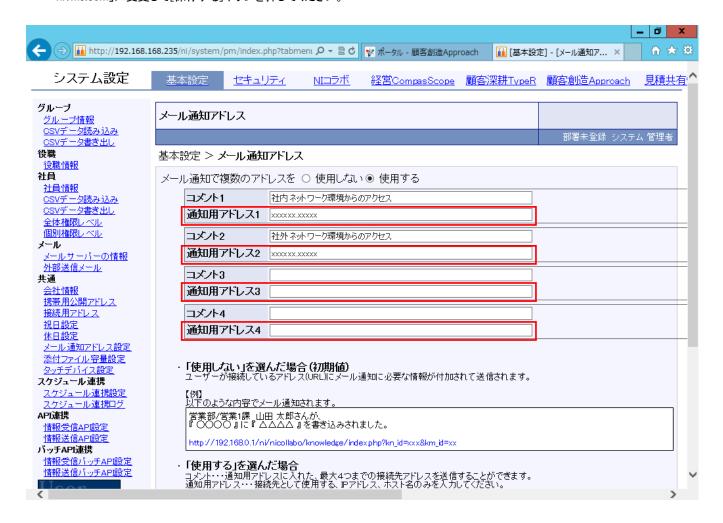
プロキシサーバー等を経由する運用の場合のみ設定が必要となります。

・クラウドサーバーに直接接続を行わず、

- ・プロキシサーバー等でクラウドサーバーの URL に変換を行っている場合は、 プロキシサーバー側の設定で URL を変更して頂く必要があります。
- ・ログイン後に画面が真っ白になってしまう場合は、本設定のアドレスが間違っている可能性があります。ログイン後に真っ白になった状態で、再度、ログイン画面を開くとログイン後の画面が表示されます。そこからシステム設定を起動して、上記の設定変更を行ってください。

4-3 メール通知アドレスの設定

① 基本設定よりメール通知アドレスを選択します。 通知用アドレス1~4のアドレスが、「mgapXX.niasp.jp」となっている場合は、 「nivms.com」に変更して[保存する]ボタンを押してください。



・メール通知で複数のアドレスを利用しない設定になっている場合は、変更の必要はありません。複数のアドレスを利用する設定になっている場合のみ、ご確認ください。



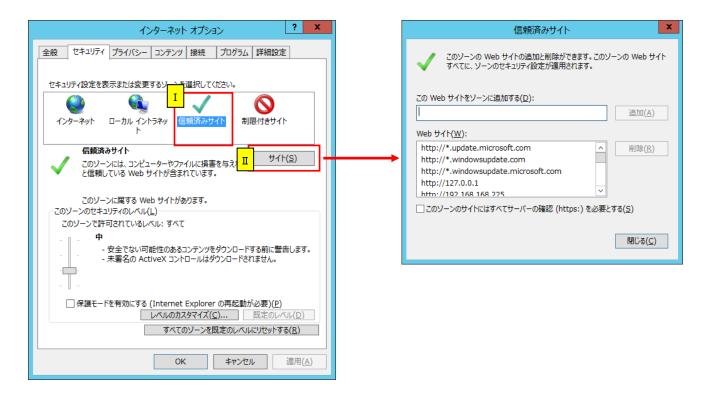
- ・クラウドサーバーに直接接続を行わず、
 - プロキシサーバー等を経由する運用の場合のみ設定が必要となります。
- ・プロキシサーバー等でクラウドサーバーの URL に変換を行っている場合は、

プロキシサーバー側の設定で URL を変更して頂く必要があります。

5.ブラウザの設定について

5-1 セキュリティゾーンの設定

① ご使用のブラウザのセキュリティゾーンの変更を行っている場合は、インターネットオプションから設定の変更が必要です。 インターネットオプションのセキュリティタブを表示した際、インターネット以外が選択されている場合は、 クラウドサーバーのアドレス変更後に、同じセキュリティゾーンに、変更後のアドレスを追加してください。



- I. クラウドサーバーのアドレスが変更になる前に、インターネットオプションのセキュリティタブを開くと、 現在設定されているセキュリティゾーンが選択された状態になります。
 - ※上記画像の例だと、信頼済みサイトに設定されています。
- Ⅱ. クラウドサーバーのアドレスが変更になった後に、インターネットオプションのセキュリティタブを開き、 サイトボタンを押して、新しいアドレスを追加設定してください。

6.メール DM サーバーの設定について

6-1 メールDM管理>連携設定の更新

- ※下記の内容は弊社製品「顧客創造 Approach」をご導入の場合のみ、必要となります。
- ① 基本設定より連携設定を選択します。 顧客創造アプローチの接続URLを「mgapXX.niasp.jp」から「nivms.com」に変更して、[保存する]ボタンを押してください。





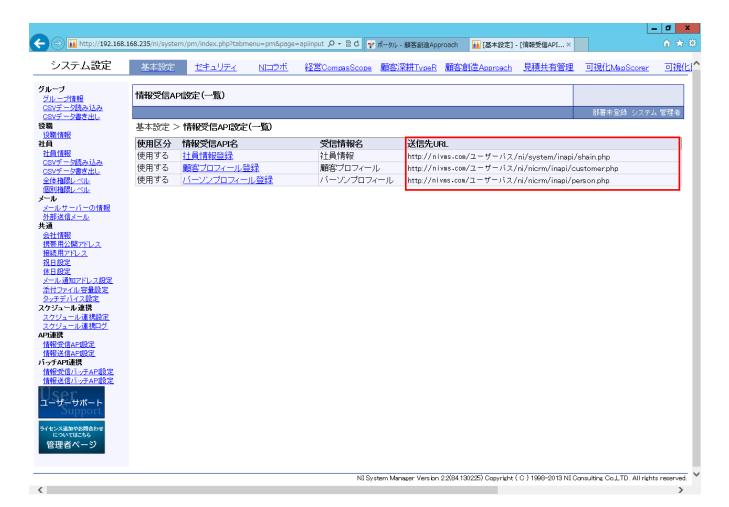
・メール DM サーバーをインストールしているサーバーにて直接作業してください。 作業後のメールDMサーバーの再起動等は不要です。

- ・接続URLを変更していない場合、コマンドプロンプトに各種接続エラーが出力されます。
- ・接続URLを変更せず、メールの取り込み等を行った場合、製品が正常に動作いたしません。

7.API連携の設定について

7-1 情報受信API設定

- ※下記の内容は「API連携」をご利用の場合のみ、必要となります。
- ① 基本設定より情報受信API設定を選択します。 情報受信API設定(一覧)画面の送信先URLが変更になっているため、外部からコールして利用している場合は、 送信先のURLを変更後のURLにあわせて修正してください。

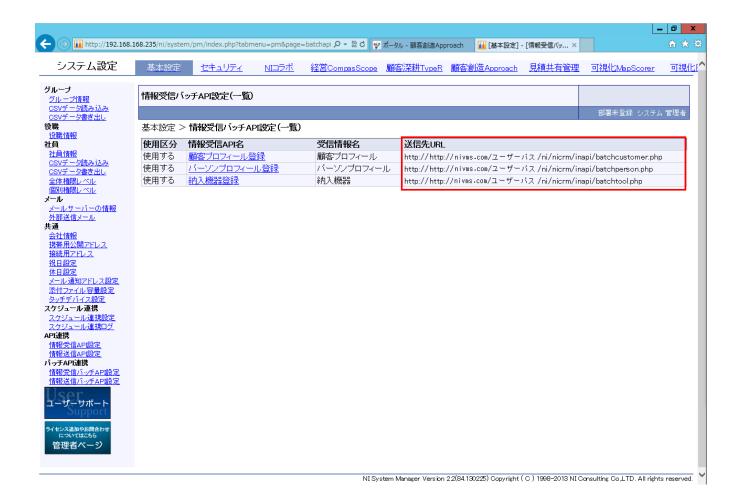




- ・NI製品の情報受信APIをコールしている外部システム側にて変更作業を行ってください。 NI製品側での変更作業は必要ありません。
 - ・送信先URLを変更していない場合、情報受信APIに情報を送る事はできません。

7-2 情報受信バッチAPI設定

- ※下記の内容は「API連携」をご利用の場合のみ、必要となります。
- ① 基本設定より情報受信バッチAPI設定を選択します。 情報受信バッチAPI設定(一覧)画面の送信先URLが変更になっているため、外部からコールして利用している場合は、 送信先のURLを変更後のURLにあわせて修正してください。

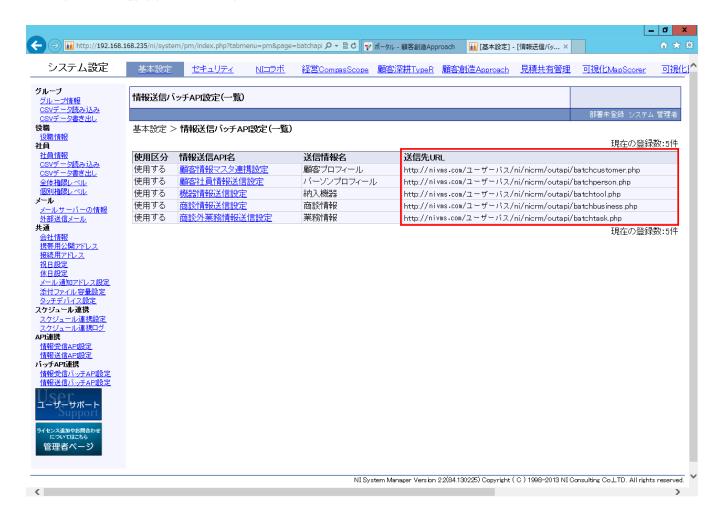




- •NI製品の情報受信バッチAPIをコールしている外部システム側にて変更作業を行ってください。 NI製品側での変更作業は必要ありません。
 - ・送信先URLを変更していない場合、情報受信バッチAPIに情報を送る事はできません。

7-3 情報送信バッチAPI設定

- ※下記の内容は「API連携」をご利用の場合のみ、必要となります。
- ① 基本設定より情報送信バッチAPI設定を選択します。 情報送信バッチAPI設定(一覧)画面の送信先URLが変更になっているため、外部からコールして利用している場合は、 送信先のURLを変更後のURLにあわせて修正してください。





- •NI製品の情報送信バッチAPIをコールしている外部システム側にて変更作業を行ってください。 NI製品側での変更作業は必要ありません。
 - ・送信先URLを変更していない場合、情報送信バッチAPIから情報を取得する事はできません。

8. 弊社製品からのアクセス先について

8-1 アクセス制限について

※下記の内容はアクセス制限を行っている場合のみ、必要となります。

弊社製品からアクセスする必要のあるサーバー(メールサーバー等)に、 ドメイン名や I Pアドレスによるアクセス制限を行っている場合、 弊社製品のアドレス変更に伴い、アクセス制限の設定変更が必要となります。

弊社製品の新しいドメイン名は「nivms.com」となります。
IPアドレスについては基本的に公開しておりませんが、
個別にお問い合わせいただければ情報公開いたしますので、
別途、メール又は電話にて弊社サポートまでお問い合わせください。

メールサーバーのアクセス制限とは、

許可されたドメイン、又はIPアドレス以外からのメールの送受信を禁止する機能となります。



- アクセス制限を行っていない場合は、本内容は不要となります。
- ・移行後にメールの送受信などが行えない場合、本設定が必要な可能性があります。

〇 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

〇 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

株式会社 NI コンサルティング内 サポートデスク

E-mail: support@ni-consul.co.jp

URL: http://www.ni-consul.jp/

FAX: 082-511-2226

営業時間:弊社休業日、土・日・祝日を除く月曜日~金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00